

# 安全作業手順書【土舗装工】

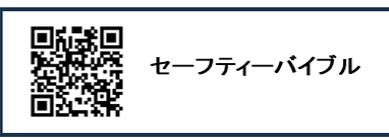
作成日・ 改正日	2025/4/1 (前回改正：2024/4/1)	現場名	東名高速道路（豊田IC～春日井IC） 名古屋第二環状自動車道 （名古屋IC～飛島北IC, 有松IC～上社JCT）
機器工具 ・車両	角スコープ、木こて、レーキ、噴霧器ジョー ロ、プレート	保護具	ヘルメット、安全チョッキ、 手袋、軍手、安全靴

		見積もり基準をした危険性の評価			
(B)	重大性	○ 軽微 (不休と休業3日以内)	△ 重大 (休業4日以上)	× 極めて重大 (死亡・障害が残る)	
	○ほとんど起こらな い (5年に1回程度)	○○ (極めて小さい)	○△ (かなり小さい)	○× (中程度)	
△たまに起こる (1年に1回程度)	△○ (かなり小さい)	△△ (中程度)	△× (かなり大きい)		
×かなり起こる (6ヶ月に1回程度)	×○ (中程度)	×△ (かなり大きい)	×× (極めて重大)		

危険性は、有害性の評価と危険度の判定基準例			
危険性の見積もり	危険性の評価	危険度	判定
××	極めて重大	5	即座に対策が必要
×△、△×	かなり大きい	4	根本的対策が必要
×○、△△、○×	中程度	3	何らかの対策が必要
△○、○△	かなり小さい	2	現時点では必要なし (確認事項あり)
○○	極めて小さい	1	対策の必要なし

作業区分	作業手順・作業内容	急所	危険ポイント			リスクの見積り			安全対策（危険度2以下へ）			リスクの再見積り		
			（～なので～になる）			(A)	(B)	リスク	（私達はこうする）			(A)	(B)	リスク

準備工	協議内容確認	作業場所の確認を行う	周辺ケブ#埋設物の目視確認	書類を確認せず、 作業前目視点検も行わずに作業を開始してしまう	△	×	4	必ず全員で手順書を確認し、現場周辺を目視して作業に	○	○	1
	作業確認	作業の打合せ(KY)を行い、作業箇所を確認を行う	作業員全員で	手順を間違えて思わぬケガをする	△	×	4	全員で手順書、KYの内容を周知する	○	○	1
		使用機械、工具等の点検を行う	作業前に	作業中に機械が故障し、思わぬケガをする	△	×	4	作業前に必ず道具、工具、機械類の点検を行う	○	○	1
		しらすんだーの動作確認及び点検を行う	朝礼時に作業員全員で毎日動作確認をする	電池切れて緊急時、逃げるのが遅れる	△	×	4	毎日動作確認をし、電池が減ったら交換する	○	○	1
調査工	周間にケーブル等が添架されていないか現地確認する		事前調査をする場合は調査工手順書に則って	調査工手順書に則る							
	協議内容の確認 作業場所を事前に確認を行う		周辺ケブ#埋設物の目視確認	書類を確認せず、 作業前目視点検も行わずに作業を開始してしまう	△	×	4	必ず全員で手順書を確認し、 現場周辺を目視して作業に臨む	○	○	1
草刈/整地	草が広域に繁茂している場合は、事前草刈を実施する 出来るだけ不陸を修正する	草刈作業手順書に則り 埋設物等に影響を与えないよう注意する		草刈り初心者の作業で構造物等に接触して損傷させる	×	×	5	有資格者で熟練者を出来るだけ配置する	○	○	1



車両確認											
作業車両準備											
作業車両点検											
出発準備											
出発											
規制内進入											
車両移動											
停止											
逃走防止											
本作業				25.車両回送手順書に則る							

使用機器等	車両から必要機械を降ろす	①手袋などを着用して ②手・指挟まれに気をつける。声かけ、合図をして	①荷台から飛び降りて怪我をする ②手・指が挟まれて怪我をする	△	△	3	無理な搬出はせず、サイドカバー・タイヤ等安全な足場 から車両に正対して昇降する。飛び降りない。	○	△	2	
現場確認	作業箇所の確認、周辺構造物等の確認	①ケーブル、構造物施設を作業員全員で確認、監視人を配置する	作業周辺を確認せず、勢いあまり ケーブル及び構造物を損傷させたりする	△	△	3	作業前全員で作業位置の確認と周辺の安全を確認してから 作業を開始する	△	○	2	
マーキング	スプレーで作業箇所をマーキングする	風向きに気をつけて	風によりスプレー染料が車線側の一般車やに飛散する	△	△	3	風向きに十分注意して、車線との近接箇所では飛散防止 対策を行う	○	○	1	
草刈	作業箇所の草を草刈り機、鎌で刈り取る	切削用手袋を着用して	勢いあまり、鎌で身体を損傷させる	△	△	3	刈り手は必ず切削用手袋を着用する	△	○	2	
整地	不陸をなくすため、地中に拝領して伏ねする 不陸をなくすため、最小限でコンパクトプレートなどで転圧修正する	スコップの向きに注意して深く差さない 同じ場所を転圧し続けたい（広く浅く）	勢いあまり、スコップの先で埋設物を損傷させる 同一場所で転圧しすぎて埋設物を損傷させる	○	×	3	少しずつ慎重にすべらず掘り進む 広く深く全体を軽く転圧修正する	○	○	1	
土舗装	作業位置で袋を敷き敷きならす	出来るだけ均等に敷きならす	袋を破くとき慌てて手を切る	×	△	4	出来るだけ袋を使用し、慌てた作業はしない	○	○	1	
散水	土舗装面の整形 作業完了面に散水する	木こてレーキなどで押さえながら均等圧で敷きならす 全体に決まった水の量を均等にやさしく散水する	深さを確認しないと作業後ひび割れが発生しやすい 勢いよく散水して表面土が流れ出す	△	△	3	所々深さを確認しながら均等に敷きならす やさしい水圧で均等に規定量分を散水する	○	○	1	
後処理	清掃	帯で場内清掃を行う	車線側への砂埃に注意して	△	△	3	監視員を配置し、車両の無いタイミングで清掃する	○	○	1	
	場内確認	場内状況及び清掃状況を確認する	使用道具や、検測道具など忘れ物の無いように	/	/	/	/	/	/	/	
	現場離脱			25.車両回送手順書に則る							

特記	1人作業	原則1人作業はしない。やむ終えず1人作業をする場合は現地でKYを実施し、作業員同士目のつく範囲内で作業を行う。尚且つもしもの時の連絡体制を事前に構築しておく。									
	パワーゲート を使用した荷 台積み下ろし	パワーゲートを使い荷台にバルーン等を積み下ろし作業をする 時は、積載物の落下またはゲート昇降による手の挟まれ、スラ イドバーの延伸による足挟まれに注意すること	①パワーゲートを昇降させるときは必ず声を掛け合図を行い、 手・足が挟まれないことを確認し安全を確保してから昇降させる。 ②バルーン等のタイヤロックを外す時は、必ず声を掛け合図を 行い、保持を確認して安全を確保してからロックを外すこと	声掛け合図を怠り、積載物またはゲートに手足をは さまれて怪我をする	○	×	3	パワーゲートを使用する際は必ず2人以上で作業を し、ゲートの昇降をする場合は声を掛け合い挟ま れないように安全を確保してから昇降させる。	○	○	1
	台車を使用す る場合	台車を使い小運搬を行う時は、台車の逸走による車両等への接 触に注意すること	台車は自動ストッパー機能付とする	台車から離れた瞬間に台車が逸走し走行車両と接触 する	△	△	3	使用しない時は裏向きにし、Gr外側など走行車両から 遠い位置に仮置き。強風の場合はウェイトを置 く。	○	○	1